

令和8年8月3日

【第二報】令和8年度熊本地震に関する被害調査

(一社)宮崎県トラック協会

【1】調査目的

令和8年7月28日に発生した令和8年度熊本地震に関する被害調査を行い、会員事業所の現状把握を行う。

【2】調査方法

- (1) 調査対象(回答数) 運送事業者 170社 (回収率 36.5%)
- (2) 調査期間 7月29日～7月31日
- (3) 調査方法 FAX(県内465社事業者宛)

【3】集計結果(総括)

熊本に営業所を構えている事業者については建物の破損・全壊等施設の被害(8社)の報告があり、また全事業者運行中の車両への被害は2社であった。

一方、運行への影響がかなり大きく、75社が影響を受け運行遅延が56社、運行中止が30社にのぼった。(一部重複回答有り) 主なものは以下のとおりで、

①普段使用している九州自動車が行き止まりになったことから配送中止や東九州道への迂回を余儀なくされている。②東九州道へ迂回したことにより、拘束時間の大幅増や燃料費・高速料金等といった経費が余計にかかる事となっている。③南九州から北上する車両については東九州道もしくは下道での走行となる為、交通渋滞も予想される。

さらに今後の配送計画については現在不透明と答える事業者が多数。なお、お盆を前にして九州自動車道の復旧見込みが不透明である為不安視している事業者が多数いる。

影響を受けた75社の主な輸送物

内容	社数	割合
一般貨物	26社	34.6%
農畜産物	7社	9.3%
食料品	8社	10.7%
木材製品	7社	9.4%
その他(タイヤ、部品、資材等)	27社	36%
合計	75社	100%

【4】集計結果

（１）施設（県外営業所を含む）の被災

	回答数	回答割合
被害なし	1 6 2 社	95.3%
被害有り	8 社	4.7%

※被害有りと答えた具体的な内容

- ・建物内・外にヒビ
- ・八代・松橋営業所集配停止。(期間未定)
- ・松橋営業所 備品散乱
- ・八代支店、熊本支店が被災
- ・熊本支店に被害有り
- ・熊本営業所被災
- ・認可申請中の営業所において、従業員休憩室として使用を予定していた建物が全壊した。
- ・建物基礎が 50cm 程ずれた

（２）運行中の車両の被害

	回答数	回答割合
被害なし	1 6 8 社	98.8%
被害有り	2 社	1.2%

※被害有りと答えた具体的な内容

- ・八代方面の道路が至る所隆起してるがどうにか目的地には行けた
- ・荷物の傾きが起きた。

(3) 運行の遅延、中止

	回答数	回答割合
影響なし	9 5 社	55.8%
影響有り	7 5 社	44.2%

影響有りの内、
遅延 5 6 社 中止 3 0 社（一部重複回答有）

【上り荷】

○中止

- ・熊本市内行き中止
 - ・宮崎→熊本の輸送が中止
 - ・7/30 熊本配送分中止
 - ・宇城市三角町行き、発電機 2 台中止
 - ・タイヤを積んだ海上コンテナを都城から福岡アイランド行きが中止。
 - ・天草行き中止(えびのまで行って帰庫)
 - ・一部熊本市内、八代方面は運行休止。30 日以降は荷主と調整中
 - ・熊本の取引先の営業ストップによる運搬中止があった
 - ・県内から川棚(長崎)に運ぶ分が九州道の通行止めに伴い中止に。
 - ・八代にあるイオン南九州 FDC から店舗輸送の中止。
 - ・八代市、人吉市、球磨郡、八代郡については配達見合わせ
 - ・八代市にある家電製品の物流倉庫が稼働停止の為、出荷不可。
 - ・スーパー配送（熊本県内発）は全台休止。
 - ・八代行きの仕事が中止になった
 - ・配送先震災により配送中止
 - ・八代市の物流センターにて配送業務があるが倉庫が被災した為運行中止。再開の目途も立たず
 - ・八代市在住の従業員が帰宅しており被災し翌日の宮崎発の運行を中止した。現在も出勤できず運行できていない。
- ・地震発生当日、熊本便の運休
 - ・納品ストップ、集荷ストップ多数あり
 - ・入荷遅れに伴う配送不全
 - ・JR コンテナ 鹿児島⇄都城の運行中止

○遅延

- ・ 1日スライド着に切り替え出荷
- ・ 迂回運行に加え渋滞もあり
- ・ 長崎県内・八代市内延期
- ・ 全国的に遅延
- ・ 熊本ルートは全体的に遅延
- ・ スライド変更多数あり
- ・ 高速道路通行止めによる遅延が発生
- ・ 納品先の変更（八代市→福岡市）
- ・ 高速道路が通行止めの為時間がかかる
- ・ 九州道通行止めにより幹線便に遅れ有り
- ・ 福岡行の便が3号線下道か大分回りの為時間増
- ・ 宇城、八代にて2車両が12時間程度立ち往生
- ・ えびの～益城 IC 通行止めにより東回り(大分)で運行
- ・ 東九州自動車道回りで運行していることや、渋滞の影響で2時間程度の遅延が発生
- ・ 鹿屋→北九州に向かう車両が7時間遅れで到着
- ・ 都城→熊本に向かう車両が福岡に変更となった
- ・ 宮崎⇄福岡の定期便が大分道・東九州道経由となり稼働時間、走行距離が延びた
- ・ 運行予定の九州自動車道の不通により大分道から東九州道への迂回運行による遅延
- ・ 九州自動車八代 IC 付近で上下線各1台ずつ止まっていた
- ・ 熊本全域、長崎県、佐賀県、福岡県 遅延
- ・ 走行途中地震が発生し、Uターンし下道を通って帰庫。東九州自動車道へ迂回し配送。
- ・ 九州自動車道→東九州自動車道変更の為 遅延有り
- ・ 大分方面に迂回の為、時間管理が厳しい
- ・ 八代・熊本方面は日延べ。来週以降は走り方を変更せざるを得ない。
- ・ 高速道路通行止めにより、一般道迂回渋滞発生により拘束時間超過
- ・ 福岡、熊本方面 国道218、326 迂回
- ・ 八代インターを下りた所で地震発生。3号線の通行止め及び迂回路を探す事も困難だった為、鏡消防署氷川署に避難してもらった。29日早朝、道路の復旧等確認したところ運行継続できると判断した為、卸時間は予定どおり終了
- ・ 福岡県・熊本県の帰り荷卸し後の都城車庫移動にて通行止めで時間を要し、積み込み時間に間に合わずキャンセル。

- ・ 海岸沿いの現場にて点検のため遅延有り
- ・ 部顧客において JR 運休・ 高速道路通行止に伴う代替手段切り替えによるリードタイム増
- ・ 熊本・ 久留米・ 北九州の 3 カ所卸し、 12 時間で帰る所が 20 時間以上かかってしまう

【下り荷】

○遅延

- ・ 被災時熊本を運行。本日 9:30 帰庫 ・ 椎葉で作業中落石があり、帰庫が 22 時になった
- ・ 倉敷で積んだ荷物を熊本で卸す運行で荷卸し先が被災。積荷を荷台で一時保管する事となった。保管料有り。
- ・ 宮崎⇄福岡の定期便が大分道・ 東九州道経由となり稼働時間、走行距離が延びた。
- ・ 福岡→都城卸の車両が 10 時間遅れ
- ・ 共配関係の下り幹線が立ち往生となり遅延。
- ・ 椎葉村にて落石による 3 時間の通行止め。その後運行再開。
- ・ 7/29 到着予定の荷物が届かない。(遅延連絡は有り)

○中止

- ・ 別日で同じ運行予定があったが中止 ・ 博多から鹿児島行きの洗剤輸送の中止。
- ・ 関西→熊本の輸送が中止 ・ 福岡からの荷物発送中止のため当社休業。
- ・ 7/29 熊本市東区配送終了。帰り八代市からフレコン積載予定だったがキャンセル。
- ・ 大阪支店より熊本行きの雑貨を受け付け中止した
- ・ 福山→八代便が前日キャンセル

(4) その他の被害

- ・昨日、佐賀に行っていた便も高千穂回りで下道大渋滞の中帰庫。(57 号線)
- ・九州道通行止めにより大分道へ迂回。コスト・運行時間増
- ・九州道の通行止めで影響が出ている。
- ・熊本 3 号線ルートより東九州側ルート変更により経費増(高速代・燃料費)
- ・熊本の荷卸し先には被害が出ているみたいだが、現在確認中。
- ・高速代・燃料代・人件費ともに上昇
- ・乗務員 1 名地震発生直後九州道下り松橋にて被災。7/29 10:00 頃帰庫
- ・取引先からの支援物資輸送依頼の急増により、既存業務の配車に影響。
- ・荷主の物流センターが人吉市にあり。今後遅延が予想される。
- ・荷物の遅延(熊本経由)が発生。見通しは不透明。
- ・福岡から宮崎に配送する際、九州道が使えなくなり、東九州道を使用する事になり高速代・燃料費等のコスト増。
- ・宮崎→福岡への運行で東九州道大分→鳥栖を利用する事になり、拘束時間が増える事により交代要員が必要。
- ・九州道が通行止めの為、東九州道を通行するが、時間と経費がかかる
- ・福岡行が大分回りになりかなり時間がかかる。渋滞もしている。
- ・29 日は東九州道を利用して輸送される為、当社の輸送時間やルート変更して対応
- ・高速道路通行止めによる行程変更など運行に支障
- ・本数の減少、走り方の変更が必至。収益力低下となる。
- ・福岡→霧島・都城間一部通行止めの為、走行時間が長くパーキングが少ないため休憩時間が取りにくい。
- ・遠回り、高速代割高によりコスト・運行時間・労働時間増。
- ・熊本県・福岡県の協力会社が通行止めの影響により宮崎県まで来る時間が大幅に掛かる為、荷物を発注できない。
- ・八代日野に入庫中の車両がまだ作業が終わっておらずいつ取り出せるかも分からない状況
- ・事務所プレハブ損壊、地割れ
- ・熊本への運搬をストップさせられている。パルプ関係で日本製紙の被災により。
- ・事務所内壁の一部が脱落、神棚落下により事務員が負傷(軽傷)